

Press Release

報道各位

2021年1月28日

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 「まみえる 千変万化な顔たち」開催のお知らせ

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は、3月20日（土・祝）より企画展「まみえる 千変万化な顔たち」を開催します。

本展では、近代から現代までの10人のアーティストによって表現された「顔」の作品をご紹介します。「顔」を通して、アーティストたちがどのように自己と他者、そして社会や世界を捉えているかを探る展覧会です。

プレス関係の皆様には広く告知いただきたく、お願い申し上げます。



まみえる展メインビジュアル デザイン：宮越里子

[お問い合わせ先]
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団
企画展担当：竹崎瑞季 広報担当：奥本未世
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1
Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766
www.mimoca.org E-mail. press@mimoca.org



■本展について

目、鼻、耳、口といった感覚器官が集まる「顔」。皮膚も含めると、視覚や聴覚などの五感全てを受け取る部分です。そして顔を通して、私たちは相手を特定し、その心の中を探りながらコミュニケーションを取っています。また、比喩として「顔を立てる」「顔を並べる」などのように、顔にいくつもの意味を込めて社会生活を送っています。

コロナ禍では、自分も相手もマスクをつけ、顔が見えにくい日常が続いています。けれども、そもそも私たちは相手の顔をどこまで見ているのでしょうか。あるいは、自分の顔は相手にどのように映っているのでしょうか。

本展では、この捉えがたい顔というものに焦点を当て、「私とあなた」「関わり顔」「顔にあそぶ」という3つのアプローチから、10人の芸術家による表現をご紹介します。時代もジャンルも異なる、多様な顔との出会いをぜひお楽しみください。

■本展の見どころ

・時代もジャンルも異なる10人

岸田劉生や萬鉄五郎という日本近代を代表する画家の自画像から、奈良美智や横山裕一など国内外で活躍する現代アーティストの作品まで、全く異なる顔の表現をご覧ください。

・新作や初展示作品が多数

高山陽介による頭部を模した木彫や、笹岡由梨子による映像インスタレーションの新作が並びます。ZINEやInstagramから生まれたsuper-KIKIのセルフポートレートも初展示作品です。

・芸術を通して「顔を合わせる」

コロナ禍により、お互いが近くで顔と顔を合わせる機会が少なくなりました。本展では、芸術作品を通して、時代も場所も超えた、多様な顔との出会いをお楽しみいただけます。

■展示構成

本展は、さまざまな顔の表現を以下の3つのセクションからご紹介します。

私とあなた

「私（自己）」と「あなた（他者）」をめぐる顔の表現をご紹介します。外面を正確に写し取るだけでなく、内面にあるものまでをも捉えた作品を展示します。

【出品作家】岸田劉生、萬鉄五郎、猪熊弦一郎、木村伊兵衛



左：岸田劉生《自画像》1913年
豊田市美術館蔵

右：萬鉄五郎《雲のある自画像》1912年
大原美術館蔵

関わりの顔

自分自身や家族、身近な人、知らない誰か、社会、そして国など、人と人のさまざまな関わりのはざまに浮かび上がる顔の表現を取り上げます。

【出品作家】奈良美智、ERIC、高山陽介、super-KIKI



左：ERIC《血族》より 2016年

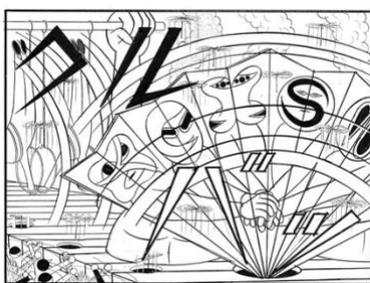
中：高山陽介《無題（頭部 #72）》2020年 ©Yosuke Takayama, courtesy of ANOMALY

右：super-KIKI《Selfies》2021年

顔にあそぶ

感情や内面の表出を目的としない顔の表現もあります。ここでは、顔というモチーフを用いて造形的な実験がなされた作品に焦点を当てます。

【出品作家】猪熊弦一郎、横山裕一、笹岡由梨子



左：猪熊弦一郎《顔 ブルーの中》1989年 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館蔵 ©公益財団法人ミモカ美術振興財団

中：横山裕一『PLAZA』140p 2019年 ©Yuichi Yokoyama, courtesy of 888books, ANOMALY

右：笹岡由梨子《Planaria》2021年

■開催概要

展覧会名 | まみえる 千変万化な顔たち

主催 | 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

会場 | 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室 C

会期 | 2021年3月20日(土・祝)～6月6日(日)

開館時間 | 10:00～18:00 (入館は17:30まで)

休館日 | 月曜日 (5月3日は開館)、5月6日 (木)

入館料 | 一般 950円(760円)、大学生 650円(520円) 常設展の観覧料含む
高校生以下または18歳未満・丸亀市在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料
※()内は前売り(企画展のみ)及び20名以上の団体料金

同時開催

常設展「猪熊弦一郎展」(仮称)

入館料 : 一般 300円(240円)、大学生 200円(160円) ※企画展の観覧料は別途

■関連プログラムについて

親子で MIMOCA の日

2021年4月3日(土)、4日(日)

子どもが芸術に触れる機会を増やすことを目的として2020年度より開始しました。この日は高校生以下または18歳未満の観覧者1名につき、同伴者2名まで観覧無料となります。

その他、ギャラリートークやワークショップなど展覧会の関連プログラムについては、新型コロナウイルス感染などの状況を確認の上、開催の判断をいたします。開催にあたっては改めてお知らせいたします。

■広報用画像について

上記の出展作品の画像も含め、広報用画像を提供いたします。

ご希望の方は下記 URL からお申し込みください。

<https://www.mimoca.org/ja/press/>